

校長室だより No 25

来年度よりコミュニティ・スクールになります

2022年 3月9日 柏市立土小学校 校長 梅津 健志

来年度に向けて、保護者の皆様のご理解をお願いしていくことがありますので、校長室だよりを通じて発信をしていきます。

今回は大きな転換点となるコミュニティ・スクールへの移行についてご説明をします。コミュニティ・スクールへの移行は平成16年度より始まり、現在全国で約30%程度の学校がコミュニティ・スクールとなっています。柏市も2023年までに全校をコミュニティ・スクールにする計画で進んでいます。コミュニティ・スクールは法律に定めがあり、様々な立場の方々から組織する学校運営協議会を設置して、その協議会で、3つのことを学校と共に行っていくことになっています。

○校長の学校経営の方針を承認すること。○学校の運営に関して意見を述べること。○教員の任用に関して意見を述べること。この3つの機能を有することとなります。私は、コミュニティ・スクールの立ち上げにあたって、学校の経営方針の承認に最も力を入れてゆき、土小がどのような子供を育てようとしているのかその目標を保護者の皆さんや地域の皆さんと共有していきたいと考えています。その上で、目標の実現に向けて行う様々な教育活動を、学校の教員だけではなく、地域の方々や保護者の皆さんと一緒に取組んでいく学校にしていきたいと考えています。そのためには、学校が何を目標としているのかをお伝えし、さらには一緒に目標を考え吟味していく機会を設けていく予定です。

今年も教頭が作成している学校だより「百年桜」に、土小で育む9つの資質・能力を毎回掲載しました。育成に向けて、どのような教育活動を行い、どのような力が付いてきているかも同時にお伝えしてきました。次年度は、9つの資質・能力を学校の教員が話し合う際に、学校運営協議会の方々にも参加をしていただく予定です。その後にかかれる4月の授業参観の際には、教育課程説明会の時間をいただき、学校の方針をご説明させていただく予定です。

さらに、6月18日の土曜参観日には、教育三集会を開き、土小が目指す目標に向けて行う教育活動について、保護者、地域、先生がブレインストーミングを行い、子供にとってよりよい案を出し合い、それを元に学校での指導計画の中に、地域や保護者の外部の力を入れていくよう教育活動のアップデートを絶え間なく行っていきたいと考えています。次年度は感染対策を施した上で、学校を開き教育活動を見ていただき、子供たちの教育内容をみんなできよりよくしていく、そういうコミュニティ・スクールへのスタートを切って参りますので、よろしく願いいたします。